

記念式典

次 第

- 1 開 式 13:00
- 2 式 辞 涌谷町長 大橋 信夫
- 3 祝 辞 涌谷町議会議長 遠藤 稔雄 様
宮城県知事 村井 嘉浩 様
(公社)全国国民健康保険診療施設協議会会長 押淵 徹 様
- 4 来賓紹介
- 5 活動紹介 13:30
テーマ 「健康推進員協議会のこれまでの歩み」
～健康づくりのバトンをつないだ30年～
発表者 涌谷町健康推進員協議会副会長 及川真由美 氏
- 6 基調講演 13:50
テーマ 「安心して暮らすことのできる涌谷町をめざして」
～これまでの歩みとこれから～
講 師 北海道京極町国民健康保険診療所長
北海道大学名誉教授 前沢 政次 氏

休憩・アトラクション リハビリテーション科による健康体操

「わくや ワクワク 体操」

- 7 パネルディスカッション 15:00
テーマ 「涌谷町の地域包括ケアシステムを考える」
～住み慣れたこの町でいつまでも～
パネリスト
涌谷町健康推進員協議会会長 佐々木富貴代 氏
地域住民代表 高橋 ちづ子 氏
涌谷町在宅医療・介護連携推進協議会会長 米谷 則 美 氏
秋田県横手市 市立大森病院長 小野 剛 氏

助言者

広島県尾道市公立みつぎ総合病院名誉院長・特別顧問

山口 昇 氏

コーディネーター

北海道京極町国民健康保険診療所長

前沢 政次 氏

- 8 閉会挨拶 涌谷町町民医療福祉センター長 大友 和夫

- 9 閉 会 16:30

プロフィール

山口 昇

長崎市出身。昭和37年長崎大学大学院医学研究科修了（外科学、医学博士）。昭和41年より公立みつぎ総合病院長、平成15年より病院事業管理者、平成24年4月より名誉院長・特別顧問。我が国ではじめて地域包括ケアを実践し、地域包括ケアシステムを構築（原点）。

一方、厚生労働省の老人保健福祉審議会をはじめ各種検討会委員を歴任。昭和59年当時の厚生省に対し、地域包括ケアシステムの必要性を提言。

現在は全国国保診療施設協議会名誉会長、全国老人保健施設協会名誉会長。

平成11年読売医療功労賞受賞。平成元年11月藍綬褒章、平成15年11月叙勲（瑞宝重光章）受章。

前沢 政次

茨城県出身。昭和46年新潟大学医学部卒業（教育学修士、医学博士）。

大分県立三重病院、自治医科大学地域医療学教室を経て、昭和63年から平成8年4月まで涌谷町町民医療福祉センター所長。平成8年5月から北海道大学医学部附属病院診療部教授、涌谷町町民医療福祉センター名誉所長、その後北海道大学大学院医学研究科教授を経て、平成24年に京極町国民健康保険診療所長となり現在に至る。日本プライマリケア連合学会理事長、日本在宅医学会会長を歴任。

小野 剛

秋田県出身。昭和58年自治医科大学医学部卒業（内科学、医学博士）。

秋田大学医学部付属病院研修医。昭和60年町立羽後病院内科医員、平成3年秋田大学医学部第一内科医員。平成8年町立大森病院院長、平成17年市立大森病院院長となり現在に至る。全国国保診療施設協議会副会長、全国自治体病院協議会理事、秋田県医療審議会委員、秋田県地域医療対策委員会委員、秋田県病院協会副会長。

米谷 則美

涌谷町出身。昭和56年岩手医科大学医学部卒業、昭和61年岩手医科大学大学院卒業（呼吸器内科学、医学博士）。岩手医科大学第三内科医員、昭和63年第三内科助手、平成5年第三内科講師、平成5年涌谷町町民医療福祉センター内科医員、平成7年涌谷町内に米谷医院を開業し現在に至る。宮城県医師会理事。遠田郡医師会理事。

佐々木 富貴代

平成3年から涌谷町八雲区健康推進員として活動。涌谷町健康推進員協議会理事、副会長を歴任し、平成21年4月から会長に就任。300人余の健康推進員のリーダーとして活躍。平成27年4月から涌谷町生薬まちづくりの会会長となる。平成28年4月から宮城県食生活改善推進員連絡協議会監事としても活躍。また、平成21年から八雲区「運動ひろば」のリーダーとして、運動を通じた交流の場の運営に尽力されている。

高橋 ちづ子

平成17年から涌谷町社会福祉協議会評議員、地域福祉会会長、平成28年から涌谷町ボランティアの会会長となり現在に至る。第2次地域福祉活動計画策定委員会副委員長を務める傍ら、自ら広報委員会委員や配食サービス協力員として活動する。上小塚区「運動ひろば」を主催するなど地域においても活躍されている。

涌谷町町民医療福祉センターの沿革

| | |
|----------|--|
| 昭和63年11月 | 涌谷町町民医療福祉センター供用開始、涌谷町国民健康保険病院開設（一般病棟40床）、医師4名 |
| 平成元年4月 | 健康推進員制度発足、一般病棟増床（62床） |
| 平成3年1月 | 在宅介護支援センター開設、同年3月 一般病棟増床（100床） |
| 平成5年7月 | 広島県公立みつぎ総合病院と姉妹縁組 |
| ” 8月 | 涌谷町訪問看護ステーション開設 |
| 平成7年4月 | 健康管理センター供用開始 |
| ” 7月 | 老人保健施設供用開始（80床） |
| 平成10年10月 | 24時間ホームヘルプサービス開始 |
| ” 4月 | 介護保険制度開始 |
| ” 10月 | 歯科保健センター供用開始 |
| ” 12月 | 療養型病床群供用開始（40床）、平成14年4月増床（41床） |
| ” ” | 高齢者福祉総合施設構想（Associated Universal Town） |
| 平成15年5月 | 高齢者福祉複合施設（特別養護老人ホーム・高齢者生活支援ハウス・デイサービスセンター）供用開始 |
| ” ” | デンマーク・ソロー市と姉妹都市の締結 |
| 平成22年4月 | 公営企業法全部適用（病院事業・老人保健施設事業・訪問看護ステーション事業） |
| 平成28年4月 | 地域包括ケア病床9床設置、平成29年4月増床（13床） |

涌谷町 町民医療福祉センター開設 健康推進員協議会設立 30周年記念式典



平成30年11月17日（土）
涌谷町町民医療福祉センター

涌 谷 町
涌谷町健康推進員協議会